

株主の皆様とテクマトリックスを
つなぐIRマガジン「テクマティズム」

TechM@trix

証券コード **3762**

第36期 報告書

2019年4月1日から2020年3月31日まで

テクマトリックス株式会社

TECHMATISM



テクマトリックスは、ITのスペシャリスト集団として、最新のIT技術を活用し、企業のビジネスモデル変革と企業競争力の強化をサポートしています。

最先端の情報基盤技術のインテグレーションを提供する「**情報基盤事業**」と、顧客の抱える問題領域における実践的なノウハウを実装したアプリケーションの提供を行う「**アプリケーション・サービス事業**」の2事業によって成り立っています。

TechMatrix

アプリケーション・サービス事業

- 医療、CRM等の分野でクラウド事業を展開
- IoT時代の組み込みソフトウェア品質保証のためのテストツールの提供
- インターネットサービス、金融分野でのソリューション提供
- IT技術者の教育事業を展開



FINCAD

FastHelp5

PARASOFT

情報基盤事業

- 最先端のネットワークセキュリティ・ストレージ製品の提供
- お客様の安全な情報基盤構築のために、設計・構築・保守に加え、24時間365日の運用監視サービスの提供



DELL EMC

身近なところで縁の下のチカラ持ち



情報セキュリティ
クラウドサービスを
安全・快適に



コンタクトセンター業務を
よりスムーズに



医用画像管理を
容易に安全に



交通機関の制御の
安全性向上

IRサイト動画コンテンツのご紹介

https://www.techmatrix.co.jp/ir/techmatrix_movie.html





2020年3月期も



過去最高の経営成績を更新。



在宅勤務を可能とする



セキュリティ対策の提供など、
社会経済活動の維持にも貢献しています。

代表取締役社長 由利 孝



当期(2020年3月期)を振り返って

第3四半期までは先行き不透明感を強めながらも景況は安定していましたが、2月以降は、新型コロナウイルス感染症の拡大によって世界経済は急速に冷え込みました。日本経済も甚大な影響を受けており、当面は内外需ともに、極めて厳しい状況が続くことが予想されます。

このような環境の中で当社グループは、中期経営計画「GO BEYOND 3.0」の2年目となる当期、その中核的事業戦略であるクラウド関連事業の戦略的・加速度的推進と、セキュリティ&セイフティ(安全と安心)の追求に引き続き取り組みました。第3四半期までは、幅広い産業でのクラウド化の流れなどを受けて受注は非常に好調に推移し、第4四半期は、在宅勤務のためのリモートアクセス環境の構築ニーズなどが急増しました。その

結果、当期における新型コロナウイルス感染症拡大による当社業績への影響は限定的で、一部特需も発生したため、売上高および各段階の利益は、すべて過去最高となりました。

情報基盤事業では、サイバー攻撃の脅威が高まる中、主力製品の販売が官需・民需ともに増加しました。昨年7月に統合監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY(略称TPS)」をリリースしたほか、セカンダリストレージ製品やIoT対応セキュリティ製品など、新しい分野の製品の取り扱いも開始しました。アプリケーション・サービス事業では、医療分野において株式会社NOBORIの医療情報クラウドサービスの受注が堅調に推移しているほか、CRM分野やソフトウェア品質保証分野、ビジネスソリューション分野でも、着実に受注を伸ばすことができました。

決算ハイライト

当期業績のポイント

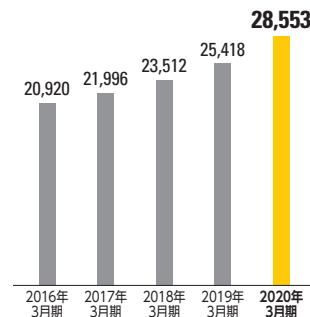
- 順調に受注が積み上がり売上高、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益の全ての指標において5期連続で過去最高を更新。売上高は18期連続で増収。
- 配当金は当期業績の利益水準をふまえ、中間配当12円を実施、期末配当を18円とし、当初計画からは3円引き上げた1株当たり30円(前期比5円増)を実施。

より詳細な財務情報は
<https://www.techmatrix.co.jp/ir/library/>

テクマト IR 検索



■ 売上高(百万円)



中期経営計画「GO BEYOND 3.0」の進捗について

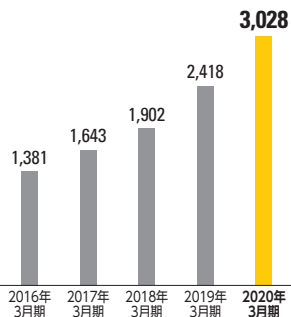
2018年5月に発表した中期経営計画「GO BEYOND 3.0」では、先ほど申し上げた中核的事業戦略に加え、事業運営体制の多様化やサービス化の加速、AIの活用、B to Cビジネスへの参入、海外事業の加速といった様々な施策を展開しています。最終年度である2021年3月期に連結売上高280億円、連結営業利益27億円を達成することを目標数値として掲げています。

実際には、2年目を終えた段階ですでに最終年度の数値目標をクリアし、計画は順調に進んでおり、多くの成果が上がっています。事業運営体制の多様化に関しては、当社の医療システム事業部がスピンアウトして誕生した株式会社NOBORIの成長が、象徴的な事例です。株式会社NOBORIは当期も、医療被ばく線量の管理システムを手がける株式会社A-Lineと資本・業務提携するな

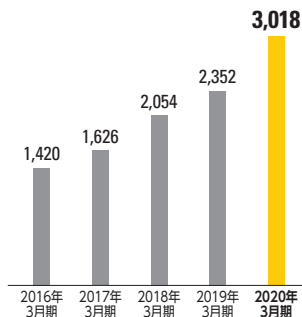
どさらに業容を拡大しており、既存ビジネスでしっかりと収益を確保しながら、新たなビジネスにも挑戦するという好循環ができてきました。サービス化の加速については、独自クラウドサービス「テクマクラウド」を活用したソリューションに加え、統合監視サービス「TPS」をリリースし、その深さとラインナップの拡充に努めています。海外市場ではタイを拠点として体制強化に取り組んでおり、今後も投資を継続していきます。M&Aについても、厳しい経済環境に怯むことなく、今後も積極的に検討していく考えです。

計画最終年度となる2021年3月期の業績見通しについては、合理的な予測が可能となった時点で速やかに公表させていただく方針です。市場環境は非常に厳しくなると予想されますが、次の中期経営計画につながる大切な一年です。新型コロナウイルス感染症の災禍がもたらした社会の大きな変化を的確に捉え、手綱を緩めることなく、引き続き各戦略の遂行に努めてまいります。

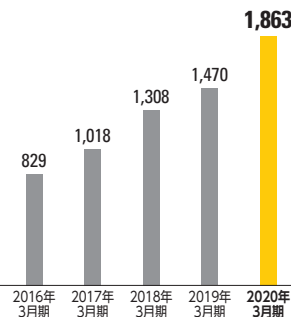
■ 営業利益 (百万円)



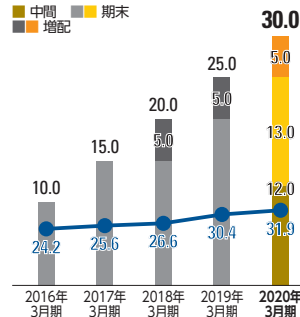
■ 経常利益 (百万円)



■ 親会社株主に帰属する 当期純利益 (百万円)



■ 1株当たり配当金 (円)



※1 2017年3月1日付で株式1株につき2株の株式分割を行っています。

※2 2021年3月期の連結業績予想・配当予想につきましては、新型コロナウイルスによる影響を現段階において合理的に算定することが困難なことから未定としております。業績予想の開示が可能となった段階で、速やかに開示いたします。

社名変更から20年

当社の社名には、テクノロジー（横軸）と垂直市場（縦軸）で構成されるマトリックスの交差点でビジネスを見つけていこうという思いが込められています。社名変更から20年が経過しました。今は優秀なITエンジニアがいるだけでは生き残っていけない時代です。また、新型コロナウイルス感染症の拡大により、社会のオンライン化は一気に加速することが予想されます。この流れは不可逆的で元の同じ状態には戻らないと言われています。安全なネットワークインフラの提供と、各垂直市場で汎用的に使われるベストプラクティスのITサービスを提供し続けることで、当社はニューノーマルと呼ばれる新しい社会においてもますます必要とされるサービス・プロバイダーになる所存です。まさに、社名変更時に思い描いた会社の存在意義を体現できていると考えています。

株主の皆様へ

当社は当期から中間配当を実施しており、当期の年間配当金は、中間配当12円と期末配当18円を合わせ、1株当たり30円とさせていただきます。年間配当金は前期比5円の増配となります。今後も配当性向20%以上を基本とする還元方針に基づき、株主の皆様への利益還元に努めてまいります。

新型コロナウイルス感染症という未知の脅威との戦いにおいて、ITは極めて重要な役割を担っています。当社もその一翼を担うものであるという強い自負と責任感を持ち、これまで以上に事業活動に邁進し、社会に貢献できるよう努めてまいります。

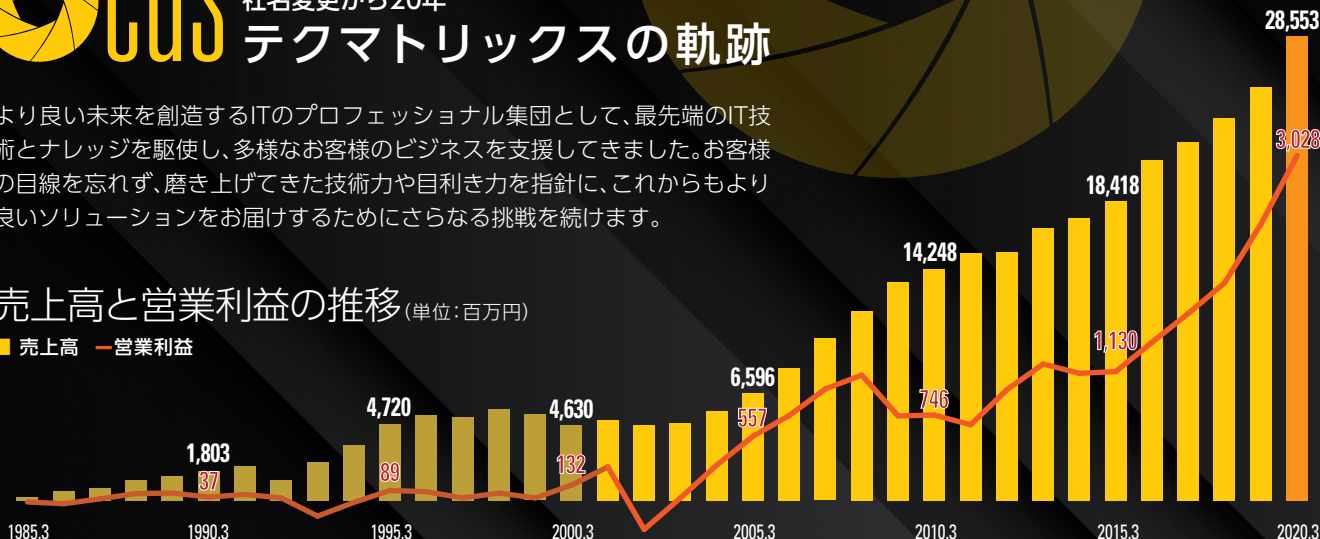
株主の皆様におかれましては、これからも引き続きご支援を賜りますよう、何卒お願い申し上げます。

テクマトリックスの軌跡

より良い未来を創造するITのプロフェッショナル集団として、最先端のIT技術とナレッジを駆使し、多様なお客様のビジネスを支援してきました。お客様の目線を忘れず、磨き上げてきた技術力や目利き力を指針に、これからもより良いソリューションをお届けするためにさらなる挑戦を続けます。

売上高と営業利益の推移 (単位:百万円)

■ 売上高 — 営業利益



会社の主な動き

1984年8月
ニテメン株式会社(現双日株式会社)の営業部門子会社「ニテメンデータシステム株式会社」として設立

2000年11月
社名を「**テクマトリックス株式会社**」へと変更

2005年2月
ジャスト証券取引所に上場

2007年8月
合同会社医知悟を設立

2008年1月
クロス・ヘッド株式会社を連結子会社化

2009年8月
株式会社カサレアルを完全子会社化

2010年6月
東京証券取引所市場第二部に上場

2013年2月
東京証券取引所市場第一部に指定

2014年3月
クロス・ヘッド株式会社、沖縄クロス・ヘッド株式会社を完全子会社化

2018年1月
株式会社NOBORIの設立

2018年4月
医療システム事業を会社分割によって株式会社NOBORIへ継承

タイ・バンコクに駐在員事務所設立

2018年8月
「JPIX日経中小株指数」の構成銘柄に選定

2019年11月
山崎情報設計株式会社と資本・業務提携

社名の由来

テクノロジーと垂直市場のマトリクス。チャレンジングな分野や技術でビジネスモデルを確立し、未来を創造していくという意志を込めた。



2000年～

2010年～

1996年12月
CRMパッケージ「FastHelp」を開発・販売開始

1998年10月
DICOM対応医用画像サーバ「Secured DICOM Server (現 SDS Image Server)」を開発・販売開始

2000年4月
米国F5 Network社の負荷分散装置「BIG-IP」の販売代理権を取得

2000年6月
米国Parasoft社の自動ユニットテストツール群の総販売代理権を取得

2002年12月
日本ネットワークアソシエイツ株式会社(現マカフィー株式会社)のウイルス対策ゲートウェイ、不正侵入検知・防御システムの販売代理権を取得

2009年12月
米国Palo Alto Network社の次世代ファイアウォール製品の販売代理権を取得

FAQナレッジシステム「FastAnswer」を開発・販売開始

2012年6月
セキュリティ監視サービス「TRINITY」の販売開始



TRINITY

新医療クラウドサービス「NOBORI」を自社開発・サービス開始



NOBORI

2015年2月
CRMパッケージ「FastHelp5」を開発・販売開始

2016年4月
新医療クラウドサービス「NOBORI-PAL」を開発・販売開始

2019年7月
「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」の販売開始



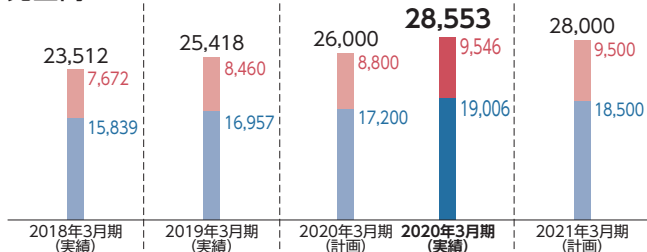
TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

2019年12月
米国fore scout Technologies社のIoTセキュリティ製品の販売代理権を取得

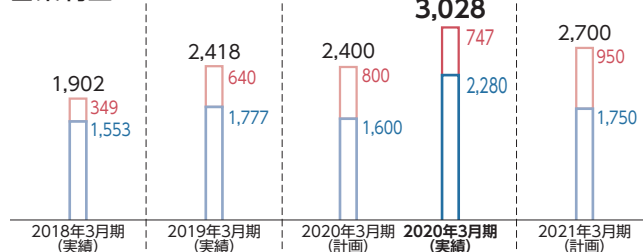
製品の主な動き

■ 中期経営計画の計画値と進捗状況 (百万円) ■ 情報基盤事業 ■ アプリケーション・サービス事業

売上高



営業利益



■ 事業戦略



クラウド関連事業の戦略的・加速度的推進



セキュリティ&セイフティ(安心と安全)の追求

■ 新規事業創出に向けた取り組み

事業戦略	取り組み
1 事業運営体制の多様化	<ul style="list-style-type: none"> ● スタートアップ企業とのアライアンス拡大を企図し、AI及びフィンテック関連ファンドへの投資を実施 ● 株式会社NOBORI、日本メジフィジックス株式会社と業務提携 ● 株式会社NOBORI、株式会社A-Lineと資本・業務提携 ● ビジネスソリューション分野の金融分野において、山崎情報設計株式会社と資本・業務提携
2 サービス化の加速	<ul style="list-style-type: none"> ● 統合監視サービス「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY」をリリース
3 データの利活用	<ul style="list-style-type: none"> ● ソフトウェア品質保証分野において、機械学習システムの品質評価につき研究開発が進捗 ● 医療分野において、AIによる医用画像診断システムの共同開発を複数のAIベンチャー/医療機関と組んで推進中 ● CRM分野にて、当社CRMシステムと各種AIソリューションの連携が進む(音声認識・自動要約・分類)
4 BtoCへの参入	<ul style="list-style-type: none"> ● 株式会社NOBORIにおいて、個人向け(患者向け)のPHR(Personal Health Record)サービスの開発が加速し、実証実験の対象病院を拡大
5 海外市場での事業を加速	<ul style="list-style-type: none"> ● ASEANにおけるCRM事業拡大のため、タイ・バンコクにおける人身体制を強化
6 事業運営基盤の強化	<ul style="list-style-type: none"> ● 人事制度の一部を刷新。社員の積極的なキャリアアップを支援することで、グループ横断的な知識・経験を備えた次世代人材を育成へ(キャリアデザイン制度) ● 情報基盤事業におけるクラウド・ネイティブ関連技術の強化に向け、株式会社カサレアルとティアップ
7 M&A	<ul style="list-style-type: none"> ● 将来のM&Aに向けた資金調達を目的に、2018年に発行した第三者割当による新株予約権の行使が完了(総額にして約43億円の資金調達)

セキュリティ分野

「包括的な脅威の検出と可視化」&
「セキュリティ運用」を最大限に効率化

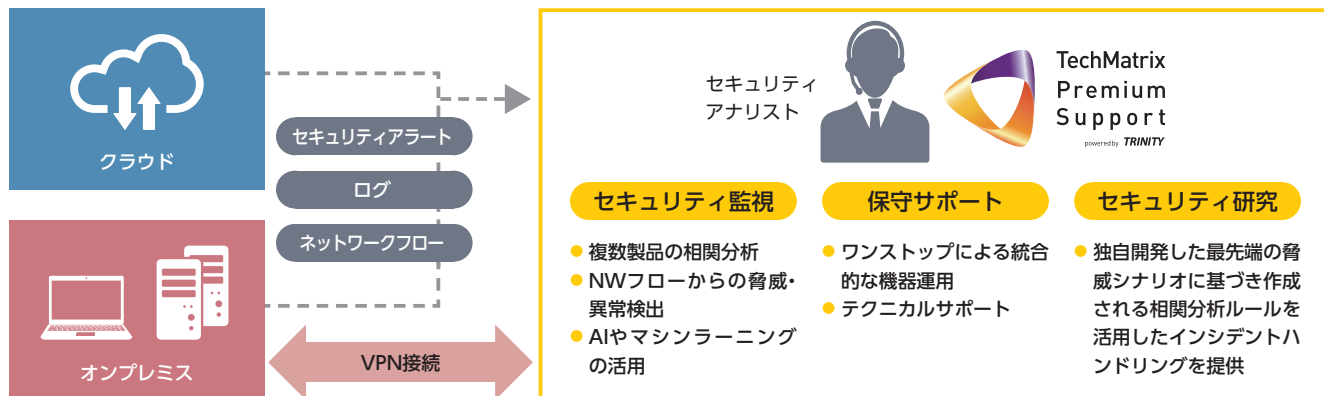
TechMatrix Premium Support powered by TRINITY

昨今のサイバー攻撃の増加、巧妙化により、多岐にわたるセキュリティ対策とその運用の維持継続や改善に対しては、経営者様や情報セキュリティ管理者様の悩みは尽きません。当社は、製品を導入いただくことをゴールとせず、導入後もお客様が安心して製品をご使用いただけるよう新たなセキュリティサービスを提供することとし、「TechMatrix Premium Support powered by TRINITY(TPS)」を2019年7月にリリースしました。

2019年9月には経済産業省によって策定された「情報セキュリティサービス基準」に適合するサービスとし

て、「情報セキュリティサービス基準適合サービスリスト」に登録されるなど、技術や品質管理において評価をいただいています。

当社は、これまでから独自のセキュリティ運用監視サービス「TRINITY」を提供してきましたが、「TPS」は、長年培ってきた各種製品に対する構築やサポートの知識・技術・TRINITYの豊富な運用実績をかけあわせた当社の最上位サポート・セキュリティサービスです。セキュリティの監視やセキュリティ機器の運用を基本サービスとして、インシデント発生時の初動調査からネットワークに接続されたパソコンがマルウェアに感染した後の調査・解析まで、連結子会社クロス・ヘッドとの連携により、サイバーセキュリティインシデント発生時の対応を、全てワンストップで提供しています。引き続きサービスの高度化に努め、より多くのお客様に満足いただけるサービスの開発に取り組んでまいります。



セキュリティ
アナリスト



TechMatrix
Premium
Support
powered by TRINITY

セキュリティ監視

- 複数製品の相関分析
- NWフローからの脅威・異常検出
- AIやマシンラーニングの活用

保守サポート

- ワンストップによる統合的な機器運用
- テクニカルサポート

セキュリティ研究

- 独自開発した最先端の脅威シナリオに基づき作成される相関分析ルールを活用したインシデントハンドリングを提供

CRM分野

コンタクトセンターCRM/
FAQナレッジシステム「Fastシリーズ」が好調

FastHelp5/ FastAnswer2

コンタクトセンターを中心としたお客様サポートの業務を支援するシステムとして、顧客満足度の向上を目指す国内トップ企業でFastシリーズの導入が広がっています。圧倒的に見やすく、操作しやすい画面デザインと豊富な機能装備により、電話やメールのみならず、LINEやSNSなどあらゆるチャネルから寄せられる問い合わせに対して、スピーディーで質の高い顧客対応を実現します。

「FastHelp5」は、当社が約20年にわたって積み重ねてきた経験・ノウハウ・技術の全てをつぎ込んだコンタ

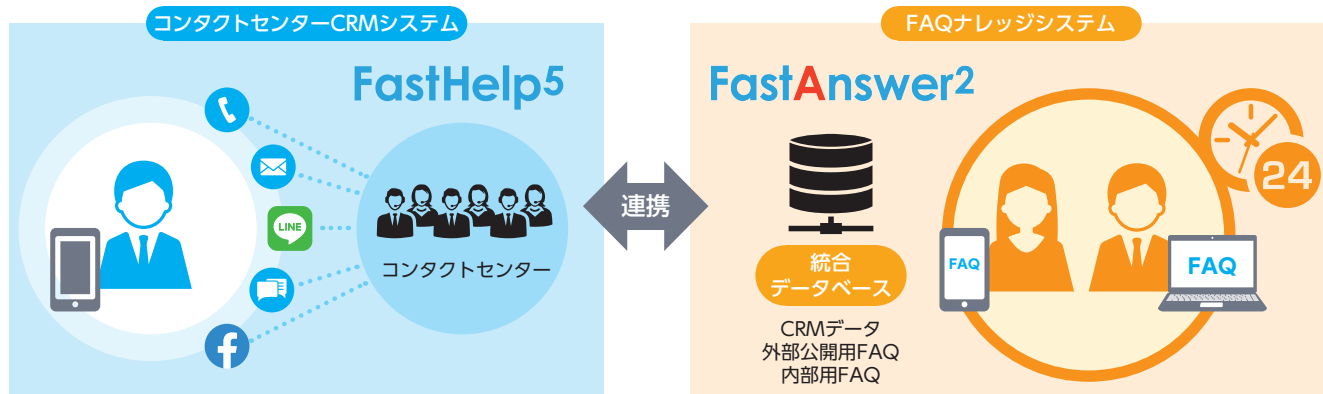
クトセンターCRM^{※1}です。顧客情報やあらゆるコンタクト履歴が一元管理でき、問い合わせに対する平均処理時間の短縮など、企業の生産性の向上につながります。

「FastAnswer2」は、お客様が時間や場所を気にせず、疑問を解決することが可能になるFAQ^{※2}ナレッジシステムです。コンタクトセンターに集まる「お客様の声」をナレッジとして蓄積し、それらを企業のWebサイトなどに掲載される「よくある質問」のFAQとして反映できるので、お客様に役に立つFAQとしての鮮度が保たれます。「FastHelp5」との連携も可能です。

今後も引き続き、より多くのユーザー様にご満足いただけるよう、製品の満足度向上に努めてまいります。

※1 CRM Customer Relationship Management (顧客関係管理)の略。お客様とのコンタクト履歴を記録・管理することで企業はニーズを理解し、良好な関係を築いてお客様満足度の向上を実現できる。

※2 FAQ Frequently Asked Questions (よくある質問)の略。



医療分野

医療情報クラウドサービス
「NOBORI-PAL」

医療被ばく線量管理システム 「MINCADI」を追加

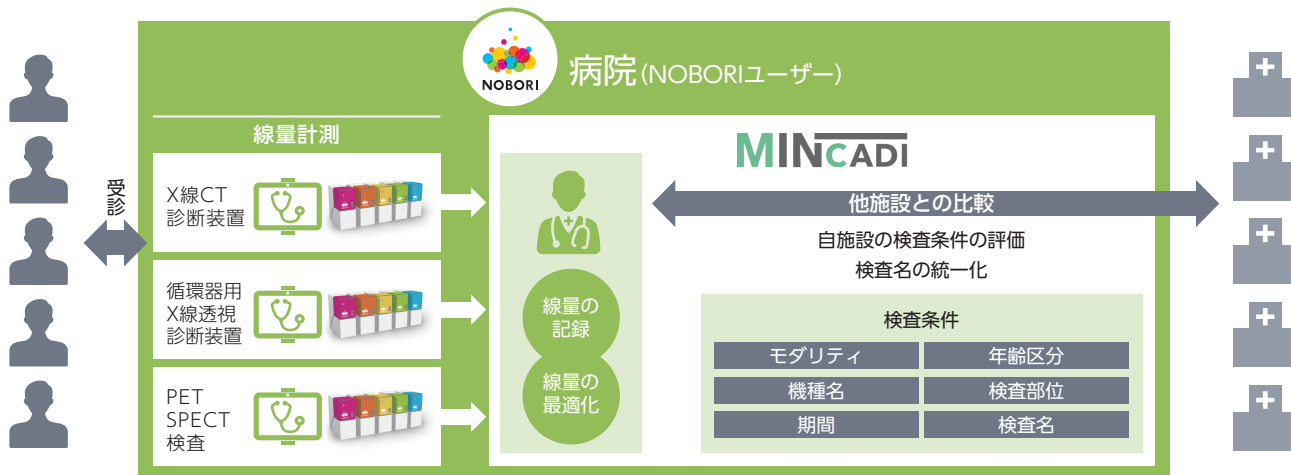
多種多様化する放射線検査は医療現場において需要が増しており、放射線検査の医療被ばくの増加は医療関係者だけではなく検査される患者様にも大きな関心事として注目されるようになりました。

2020年4月1日から、CT検査などに使われる診療用放射線に係る安全管理体制の一つとして、医療被ばくの線量管理・線量記録が医療施設に義務化されました。日本の医療被ばくの線量は世界的に見て高いと言われており、放射線診療の必要性の検討やその線量の最適化など、医療被ばくの適正管理が求められるようになりました。

こうした中、連結子会社NOBORIでは、株式会社A-Lineと資本・業務提携したことにより、2019年4月から患者様ひとりひとりに合わせた適切な放射線量で、安心・安全な検査を実施するための医療情報サービス「MINCADI」の提供を行っております。「MINCADI」は、医療機関の検査担当者が、医用画像データから取得できる医療被ばくの情報を検査単位・個人単位でクラウドに記録できるほか、他の医療機関との線量情報を比較・参照することができるため、自施設での放射線検査を客観的に評価し、検査の妥当性を検討することができます。

また、医療機関とサーバ間の通信は暗号化し、データの盗聴・改ざん・なりすましを防いだ安全な通信を提供します。

本サービスの提供を通じて、地域・医療施設の規模・機器の性能に左右されず、患者様に的確な診断を提供できる社会の創造に向けて、注力してまいります。





株主優待のご紹介

当社は、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を高め、中長期的に当社株式を保有していただける株主様の増加を図ることを目的に、株主優待をご提供しています。

昨年度のお申込みは89.9%と、多くの株主様にご好評をいただいております。今後も継続して実施を予定しております。

対象

毎年9月30日現在の当社株主名簿に記載または記録された500株以上の当社株式を保有する株主様

優待内容

500株以上

1,500円相当の商品または寄付

1,000株以上

4,000円相当の商品または寄付

2020年度優待品

500株以上保有する株主様(1,500円相当)



北海道 鮭三昧



横浜本牧亭
ビーフカレー



お茶漬け・有明海産
味付海苔詰合せ
「和の宴」



讃岐うどん



<豆和菓>
豆菓子・
お茶詰合せ

1,000株以上保有する株主様(4,000円相当)



松阪牛
すき焼用



伊藤ハム
ハム詰合わせ



いくら醤油漬け



手延三輪素麺
二年物



京都北川半兵衛
お抹茶アイスセット

※写真はイメージであり、実際の商品と異なる場合がございますのでご了承ください。

■ 会社概要

商号 テクマトリックス株式会社
(英語名: TECHMATRIX CORPORATION)
設立 1984年8月30日
上場 2005年2月18日
証券コード 3762
資本金 12億9,812万円
従業員数 1,108名(連結)
本社所在地 〒108-8588 東京都港区三田3-11-24
国際興業三田第2ビル
TEL : 03(4405)7800(代表)
FAX : 03(6436)3500

■ 役員の状況 (2020年6月26日現在)

代表取締役社長 由利 孝
取締役上席執行役員 依田 佳久
取締役上席執行役員 矢井 隆晴
取締役執行役員 鈴木 猛司
社外取締役 安武 弘晃
社外取締役 海部 美知
社外取締役 堀江 愛利
社外取締役(常勤監査等委員) 佐々木英之
社外取締役(監査等委員) 高山 健
社外取締役(監査等委員) 三浦 亮太
社外取締役(監査等委員) 杉原 章郎

■ 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会 毎年6月
基準日 定時株主総会 3月31日
配当金 9月30日
3月31日
株主優待 9月30日
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関

同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711
郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
公告の方法 電子公告の方法により行います。ただし、電子公告による事ができない事故その他やむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して行います。
公告掲載URL <https://www.techmatrix.co.jp/>

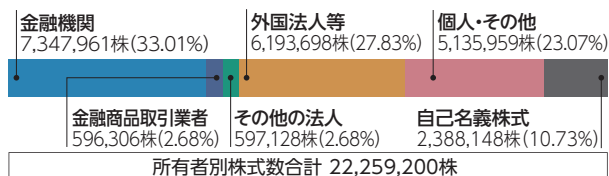
■ 株式の状況

発行可能株式総数 82,944,000株
発行済株式の総数 22,259,200株
株主数 5,937名

■ 大株主の状況

株主名	所有株式数 (株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,999,900	17.97
テクマトリックス株式会社	2,388,148	10.73
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	1,913,700	8.60
徳山 教助	718,000	3.23
GOVERNMENT OF NORWAY	575,200	2.58
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/ JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS	475,000	2.13
テクマトリックス従業員持株会	418,800	1.88
KBL EPB S.A. 107704	334,400	1.50
KIA FUND136	285,800	1.28
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	281,000	1.26

■ 株式分布状況



テクマトリックス株式会社 証券コード: 3762

〒108-8588 東京都港区三田3-11-24 国際興業三田第2ビル
TEL : 03(4405)7800(代表) FAX : 03(6436)3500

